

特集 ICTリテラシーを高めよう



子どもにとってインターネットは身近な存在です。インターネット社会を生きていく子どもに必要な能力である、ICTリテラシーについて説明します。

※ICTとは…Information and Communication Technologyの略でパソコンやスマートフォンなどの端末を活用した情報処理や通信技術のこと。

子どもを取り巻くインターネット環境

◆ インターネットの利用状況 (内閣府「令和元年度青少年のインターネット利用環境実態調査」より)

	小学生	中学生	高校生
利用率	約86%	約95%	約99%
主な利用機器	携帯ゲーム機	スマートフォン	スマートフォン
主な利用内容	ゲーム	動画視聴	SNS

子どもにとってインターネットは、**日常的に使用する、身近なもの**

◆ インターネットの光(良い面)と影(心配される面)を理解しよう!

光 (良い面)

- ★自由な自己表現が可能
- ★情報発信が容易
- ★世界中の人とつながれる
- ★多様な情報収集ができる



オンライン国際交流 (県立沼田高等学校と姉妹校の台湾 国立花蓮女子高級中学)

影 (心配される面)

- ★書き込みなどによる誹謗中傷やいじめ
- ★個人情報の流出
- ★SNSを通じて知り合った人とのトラブル
- ★高額課金・請求
- ★ネット依存



◆ ICTリテラシーとは… インターネットを正しく使いこなすために、インターネットの光(良い面)と影(心配される面)を理解し、情報をインプットやアウトプットする際に、頭の中で働く以下のような能力

インターネット上の情報をインプット



コメントや返信などでアウトプット

- 情報の意味を読み解き、正誤を判断する【判断力】
- 自分が発信することの影響を想像する【想像力】
- 自分の感情や欲望を抑える【自制力】
- 発信することへの責任感を持つ【責任能力】

学校での取り組み

教科の授業(小・中学校は技術・家庭科や道徳科、高校は情報)や特別活動などで指導を行っている他、以下のようなリテラシーを高める取り組みも行っています。

1 情報モラル講習会

各学校が県警やNPO団体などと連携し、児童生徒、保護者に対し、インターネット問題への講習会を実施しています。

令和元年度は、県内全ての公立小・中学校にて実施されました。



SNSトラブルを防ぐ心得などを警察官から学ぶ児童と保護者 (榛東村立南小学校)

2 教職員への研修

生徒指導担当教員を対象に、インターネット問題講習会を実施し、SNSトラブルやネット依存などに陥る背景や実例を学んでいます(※)。

また、1人1台端末導入の準備として、インターネット安全教室をWebセミナーにて開催しました。



令和元年5月開催時の様子

3 県立高校でスマートフォン利用ルール

全ての県立高校で生徒が自主的に学校ごとのスマートフォン利用ルールを定め、ルールの定着を図る活動を実施しています。



4 いじめ防止フォーラム

県内12地区において、他者を思いやる心を育み、互いに支え合える人間関係を構築できるよう、小・中学校、特別支援学校、高校の生徒の代表者が意見交換などを行っています(※)。

5 SNS上の不適切な投稿の調査・監視

県や一部の市町村では、業者などに依頼し、SNS上の不適切な投稿の有無について調査・監視を行い、緊急性に応じて関係機関と連携し、削除依頼や当該児童生徒への指導を実施しています。

②と④の(※) 例年実施していますが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しました。